

環境と技術を プロデュースする

ステンレス・アルミ販売

万世鋼機株式会社

代表取締役社長 石井 弘純

本社 〒816-0057 福岡市博多区西月隈1-14-79

Tel 092-411-4351 Fax 092-411-1982

支店 北九州

営業所 □久留米 □大分 □熊本 □鹿児島 □宮崎 □長崎

BANSEI



当ページのコマーシャルコーナーに関するお問い合わせがございましたら、下記事務局までお願い致します。（掲載料￥30,000 奪ってご応募ください）

編集後記

会報「シートメタルふくおか」も平成13年5月25日第1号を発刊して以来6号を迎える事が出来ました。巻頭言は各部会の紹介の記事としておりましたが、5号で終了し、今回はシートメタル工業会が目指す「物づくりの大切さ」という観点より著名な唐津一先生に文章を寄せていただきました。編集委員の方は私以外後継者経営者であり、業務で忙しい中、時間外の夕方、編集会議に集まれその中で私達業界が抱えている人材育成の議題を中心に真剣に討議されています。自分自身の会社の実態を業務を通してよく把握され、経営環境が苦しい中で歯がみをしながらも明るい展望をもって臨まれている真摯な姿勢に敬服致します。この様な編集委員会の雰囲気がシートメタル工業会の中核をなし、会報が出来上がっています。私が今回の編集責任者として無事役割を果たす事が出来たのもそのお陰です。ありがとうございました。



<辻 幸男>
(株・新栄製作所)

ホームページ開設中

ホームページアドレス <http://www.fukuoka-sma.gr.jp>

※ページの都合により会員企業紹介は今回は休ませていただきました。

シートメタル ふくおか 第6号
(福岡県シートメタル工業会会報)

発行日 平成15年2月25日
発行 福岡県シートメタル工業会
事務局 〒816-0093
福岡市博多区那珂6-25-15
(株)福岡アマダ内
TEL092-573-3655

〒800-0242
北九州市小倉南区津田1-1-3
(株)東九州アマダ内
TEL093-475-0220

今回の表紙

吉田元首相の別荘がある大磯の海岸から見た朝日です。
ときの首相もこのような朝日を眺めつづ、戦後の日本について国家百年の大計を案じたのかもしれませんね。

表紙担当 田名部 淳
(株・田名部製作所)

メタリストを応援するネットワーク情報誌

シートメタル

ふくおか

FUKUOKA

第6号

2003 初春

-CONTENTS-

特別寄稿	2・3
工業会のお知らせ	4・5
企業探訪	6
耳寄りな情報	7
コマーシャルコーナー・編集後記	8

神奈川県大磯の海岸から見た朝日



「物づくりの大切さ」

—シートメタル工業会に寄せて—

テレビの評論や出筆活動等多岐に渡り活躍されています唐津一氏（東海大学教授）に“日本の物づくり”についてのテーマで、福岡県シートメタル工業会の会報に寄せて頂きました。不況・マイナス成長と呼ばれている昨今、グローバルな視点で日本の技術力・経営の良さについて指摘されています。



唐津一教授

日本の経済規模は500兆円で世界の15%ものシェアを占めている。ところが日本列島の面積は世界の僅か0.3%である。このささやかな島国が500兆円という凄い経済を実現することに成功した理由は、工業製品を作ることによる付加価値である。鉄は工業製品を作るには大抵必要になるが、鉄の原料である鉄鉱石は1トン2000円で輸入される、この材料を使って鉄板を作ると1トン5万円になる。この鉄板を使って自動車を作ると1トン大体100万円である。このようにして物を作ることから生まれる付加価値が日本経済の原点だと断言できる。然しそれには技術が必要である。だから日本の500兆円経済の原点は技術力だと言って差し支えあるまい。

ところがここに恐ろしいことがある。それは技術は進歩し常に変わることである。例えば日本の家電業界は戦後はラジオを作っていた。それが白黒テレビとなりカラーテレビ、オーディオといった具合に主力製品はどんどん変化して来た。そこで日本の企業は常に生き残りをかけて明日のための技術開発をやっているわけだ。その結果が製品の競争力として実現しているのである。

現在日本には世界一の産業が随分ある。乗用車は毎年1000万台で他国は歯が立たない。二輪車は勿論、これらの製品を作る工作機械は世界の33%である。産業用ロボットは70%、それに家電関係はすべて日本が先駆けた製品ばかりである。今売れているのがデジカメだが昨年は800万台であった。それにITに必ず必要になる半導体用のシリコンは7割が日本製である。そこで重要なことを言っておく。これらの世界一の会社は経営も世界一だということである。経営は結果が勝負である。結果が世界一なら経営のやり方も世界一だったと言って差し支えあるまい。

世間ではグローバルスタンダードとかいう言葉がはやって、日本はそれを真似しろという意見があったが、そんなことをしたらこれらの会社はすべて世界一の座から落ちたに違いない。

然し世界はどんどん変わる。今までうまく行っていたといつても明日もそれが続くとは限らない。日本のこれまでの変化を見ていると5年も経つと殆ど全てが確実に変わっている。それどころか一年で変わる業界もある。秋葉原に行ってみると長い間お馴染みだったブラウン管は薄い板に変わった。液晶パネルである。またどのテレビにもついていたVTRはビデオディスクに変わり始めた。このような変化は止めようと思っても無理である。お客様の嗜好が変わってきたからだ。これが進歩というものである。

これは技術の世界だけではない。人々の考え方も随分変わってきている。それは特に世代間の発想の違いが目立つ時代になってきた。一昔前には考えられなかつたような若者の行動が現実のものとなっているのだ。この変化をどのような方向に引っ張って行くかが我々の最大の課題である。これは日本にいると分かりにくいこともあるが海外に行って住んでみるとその差が実によく分かる。しかしそれらを意外視したり軽蔑したりしては共存は出来ない。それどころかこれらの現象を上手に受け入れることで日本の国際化が可能になるのだ。

余り世間では言わないがもの作りの現場の国際化は急速に進んでいる。世間では日本企業の海外進出ばかりが評判になっていて、あたかも日本の経済が空っぽになるような印象を与えているが、現実はまるで違う。最近の統計では日本の製造業の海外生産は全生産の24%になった。その理由は低賃金を求めて出ていったのではない。

富山県の黒部には世界一のファスナーメーカーがある。YKKだ。社長の話では世界43ヶ国に工場があるというのだ。その理由ははっきりしている。ファスナーのお客の要求は皆違う。長さ、色合いなど全てを注文に合わせて作らなくてはならない。だからそばで作らなくては間に合わない。それで43ヶ国に工場があるというのだ。あっそうかお宅は要するにそばやの出前だね。と言ったら社長は大喜びだった。

日本の海外生産は一言で言うなら蕎麦やの出前なのである。世界中を眺めてお客様にとって一番都合の良いところで製品を作る。その結果日本の製造業は4分の1が海外に移ったのである。トヨタはフランスで乗用車を作っている。労働者が生意気で労働時間も36時間と短いフランスでなぜ勘定高いトヨタが工場を建てたかと言えばその製品はEUだからである。

これらのことから日本が世界戦略の上に計画するようになった。それであって初めて明日があるのである。これが日本の現実である。あれだけ世界一の産業があるのではないか、その技術を磨き国際化を見据えて努力すれば未来は明るい。

唐津一氏プロフィール

現職 東海大学教授
経歴 大正8年満州国生まれ。
東京大学工学部卒業後、通信省電気試験所を経て、
日本電信電話公社(現NTT)入社。
昭和36年松下電信工業に移り、53年常務取締役。
56年デミング賞本賞受賞。59年松下電気産業技術顧問に就任。
現在、東海大学教授、電通顧問。
平成13年 勲三等瑞宝章叙勲授章



講演会風景

<担当・辻 幸男>
(株・新栄製作所)

工業会からのお知らせ

工場視察見学会

平成14年11月12日工場視察見学会が三松さんイトコーさん、ナサ工業さんの全面的な協力のもと会員企業17社、36名、(事務局、役員等含め総勢44名)とたくさんの皆さんに参加していただき開催されました。

例年ですと経営部会が企画し、県外の企業の視察で主に経営者を対象としたものでしたが、今回は初めての試みとして、経営部会と生産部会が共同で企画し、シートメタル工業会の会員企業の工場を主に従業員を対象に実施されました。

当日は天気にも恵まれ、各社とも本当にいつもこんなにきれいなの(?)と思わせるようなきれいさで、いたるところに創意工夫が凝らされたご自慢の工場を見せていただきました。また、参加者もとても熱心で時間を忘れてしまうほどでした。

最後に、見学した3社それぞれについてアンケートをとり、良い点ばかりではなく悪い点を書いていただきました。

見学する会員企業、見学される会員企業の両方の勉強になったのではないかと思います。

アンケートの中にも隔年ぐらいで実施したらという意見もありましたので、今後の企業視察の方法のひとつとして考えていくべきだと思います。

見学させていただいた3社の皆様、本当にありがとうございました。



(株)イトコーにて

生産部会
(株)ヤスナガ 安永 修

《平成14年度 福岡県シートメタル工業会事業の実施状況、計画のお知らせ》

日 時	事業名称	会場・参加数
平成14年		
4月19日	定期総会・経営セミナー	ホテルセントラーザ博多 33社40名
7月23日	親睦ゴルフコンペ	ザ・クラシックゴルフクラブ 15社16名
11月12日	会員内工場視察見学会	(株)三松、(株)イトコー、ナサ工業(株)様工場 20社44名
11月22日	全国工業会役員代表者懇親会	アマダフォーラム246 1社1名
12月18~19日	板金技能検定前講習(1回目)	サンライフホテル1、ポリテクセンター八幡 7社17名
平成15年		
1月15~16日	板金技能検定前講習(2回目)	サンライフホテル1、ポリテクセンター八幡 8社18名
1月24日	平成14年賀詞交歓会(福岡支部)	博多サンライズホテル 21社30名
2月7日	平成14年賀詞交歓会(北九州支部)	稚加榮 12社18名
2月8日	板金技能検定試験(実技試験)	(有)ステンレス研工様工場 3社6名
2月9日	板金技能検定試験(学科試験)	県指定会場 10社19名
2月23日	板金技能検定試験(実技試験)	(株)三松様工場 9社20名

第5回「賀詞交歓会」開催される

例年 賀詞交歓会は博多にて開催していましたが、遠方で参加困難な方もいらっしゃるため、本年度は少しでも多くの方々に参加して頂くように福岡・北九州両支部ごとに別々に交歓会を開催致しました。また、もっとくつろいだ雰囲気で懇談していただくために立食方式を座敷での宴会方式に改め、さらに毎年開催していました講演会は行ないませんでした。以上の主旨をご理解頂いたこともあり本年は各会場にて多数の参加をいただきました。ありがとうございました。

(福岡支部)

1月24日 博多サンライズホテルにて20社29名の参加

田名部会長、長沢副会長の挨拶の後、来賓の(株)アマダ 竹内副社長のご挨拶を頂き、会員同士にて和やかな交流の中にも今後の経営談義に花が咲きました。最後に田名部生産部会長の中締めにて、現在の経済の難局を会員相互の親睦・情報交換の絆で乗りきって行こうということで締めくくりました。

(北九州支部)

2月7日 小倉稚加榮にて12社18名の参加

高橋副会長の挨拶の後、来賓の(株)アマダ 成井本部長のご挨拶を頂き懇親会に移りました。懇親会では、本年度に実施した工場見学について活発な意見が出て会場が盛り上がり、日頃の忙しさを忘れ予定時間をオーバーして会員相互の情報交換及び懇親を深めることができました。最後に高橋副会長の力強いご発声で、万歳三唱をしてお開きとすることことができました。



賀詞交歓会(福岡支部) H15.1.24



賀詞交歓会(北九州支部) H15.2.7

《平成14年度 人材高度化支援運営事業の実施状況、計画のお知らせ》

日 時	事業名称	会場・参加数
平成14年		
5月28日~29日	生産管理基礎実務セミナー	サンライフホテル1 5社7名
8月19日~24日	板金団面・箱物展開実務セミナー	サンライフホテル1、ポリテクセンター八幡 5社6名
9月9日~11日	板金団面・箱物展開応用実務セミナー	サンライフホテル1 6社9名
11月8日~9日	プレスブレーキ応用実務セミナー	(有)ステンレス研工様工場 2社4名
11月15日~16日	プレスブレーキ応用実務セミナー	(株)三松様工場 4社6名
12月6日~7日	NCタレットパンチプレス応用実務セミナー	(株)三松様工場 5社6名
平成15年		
3月31日	人材高度化能力開発給付金申請締切	

企業探訪 第6回 ウメザキシートメタル株式会社

福岡県シートメタル工業会の会員各社を順番に訪問し紹介させて頂くシリーズ第6回目は、ウメザキシートメタル株式会社です。(株)田名部製作所 田名部課長にインタビューをお願いし、ウメザキシートメタル株式会社 梅崎社長にお話を伺いました。

Q：ご創業はいつですか。

A：昭和49年1月です。20歳の頃から鉄工所をやりたいという夢をもつていたせいでしょうか。25歳の時に脱サラし、溶接業として父と妻と私の3人で独立しました。

Q：御社の業務内容、特色等お願いいたします。

A：各種制御盤・操作盤等の配電盤製造をメインとして一般製缶もやっています。

Q：溶接一本から板金(配電盤)の方へいつごろ切り替えられたのでしょうか？

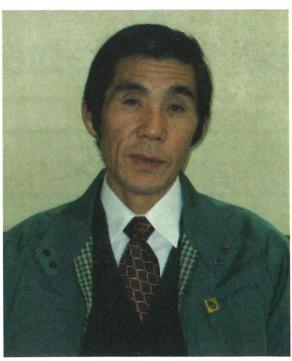
A：配電盤を始めたのは、会社設立から5年ほど経った頃でしょうか。溶接以外の仕事が必要だと感じていたころに、あるお客様から配電盤の仕事をいただいたことがきっかけでした。私自身、配電盤の仕事に魅力を感じたので素人ながらも板金の世界へ飛び込んでいくことになりました。ただ配電盤の仕事といいましても、当時の私は配電盤の知識など全くありませんでしたので、工場内の仕事を任せ自ら修行に出るなどして必死に勉強しました。

Q：それではいろいろな苦労があったのでしょうか。

A：そうですね。実際には苦労の連続でした。私が修行に出ている間、仕事が減ってきてしましましたので、思うように配電盤の方へ注力できず、切り替えの方もなかなか進みませんでしたね。今のような基礎ができたのも平成7年に加工機(シャーリングとブレーキ)、平成9年にタレパンを購入したことと、配電盤のノウハウをもったベテラン社員を雇い入れることが出来たからだと思います。私にとって大きな転機となりました。

Q：今後の展望、夢をお聞かせ下さい。

A：仕事が安定して入る体制に変えていこうと思っていますので、今まで培った配電盤の技術を生かして何かを新たに手掛けていきたいですね。出来れば将来、工場を建て直したいと思います。



<会社概要>

(所在地) 福岡県柳川市七ツ家970-1

TEL (0944) 73-7657 FAX (0944) 73-7722

(商号) ウメザキシートメタル株式会社

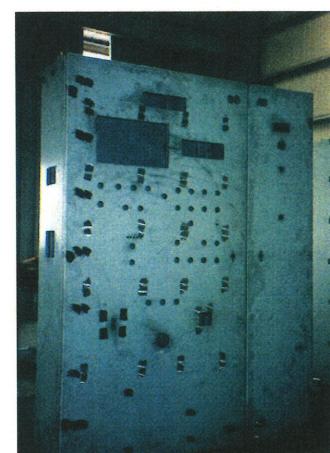
(営業種目) 精密板金(各種制御盤・操作盤・デスク盤・ボックス)

・ステンレス・アルミ・チャンネル・アングル加工)

一般製缶



製品 デスク盤



製品 制御盤



工場内

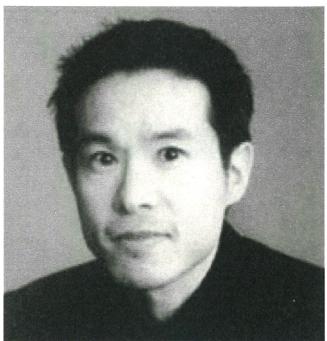
<取材・田名部 淳>
(株・田名部製作所)

鉄人俱楽部⑥ 地上の星を探して

～誕生秘話NHK「プロジェクトX」～

～燕よ、高い空から教えてよ、地上の星を～去年の紅白歌合戦で、中島みゆきが唄った「地上の星」。NHKの人気番組「プロジェクトX」の主題歌である。3年前「日本を創ってきた無名の人達に光をあてたい」そんなコンセプトから番組は誕生した。

ナレーションを担当するのは、俳優・田口トモロヲさん45歳。映画やTV、舞台等、活動の場は広いが、一般には馴染みが薄いかも知れない。



(田口トモロヲさんプロフィール)
1957年11月生まれ 45歳 東京都出身。
大学中退後、漫画家・イラストレーター・ライター・俳優等、多方面で活躍。
84年にはパンクバンド「ぱちかぶり」を結成。
89年には「鉄男」(塙本晋也監督)主演・映画デビュー。
97年 毎日映画コンクール・助演男優賞。



スタジオに呼ぶ位なら、別にVTR取材をする必要はない。これが常識だった。実際、番組誕生の頃のゲストは、話とは直接関係ない女優や作家が、VTRを見ながら、評論する方式だった。しかし、ここでも制作者は無名の人物に光をあてるに執着した。演出云々ではない。とにかく、日本を創ってきた人々に、じっくりと話が聞きたいと。

「音入れ時は、私もVTR部分しか見ていません。自宅で放送を見ながら、初めて聞くゲストの話が多く、改めて感動します」「私自身は事実より決して前に出ない様、淡々と読むだけです」と田口さん。長い不況感に疲れ、今も息苦しい閉塞感に喘ぐ日本。しかし、田口トモロヲのクールでいて、味わいのあるナレーションを聞きながら、そして国を創ってきた「強い日本人」達の姿に、勇気づけられる人も多い筈である。

<取材・大和啓介>
(三和金属・株)

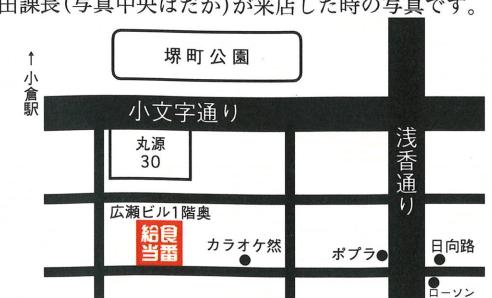
★お店探訪★

居酒屋 給食当番

TEL 093-533-7789



1月9日 RKBの探検九州というTV番組の取材で吉本興業の高田課長(写真中央はだか)が来店した時の写真です。



小倉の街に元気復活っ！！

薄暗い通路をぬけるとびっくりする位明るく元気なお兄さんが出迎えてくれる。何故か体操服に赤いはちまきをつけたその人は店の「給食当番」！！

昔なつかしい給食のメニューから思わず大爆笑のメニューまで楽しめます。もちろん味も保証します！！

一度、この不思議でたのしいこのお店をのぞいてみては？

住所：北九州市小倉北区紺屋町7-17 広瀬ビル1階 奥
TEL: 093-533-7789

営業時間：17:00～22:00 定休日：日曜日、祝日

人気メニュー

- ・若松ポート 500円
- ・教頭先生のチョーク 480円
- ・ガンバレニッポン 450円
- ・くるくる焼き 620円



<取材・原田龍太郎>
(八祥産業・株)